

普及活動情勢報告（平成30年8月分）

須崎農業振興センター農業改良普及課

元気な野菜をお届けします！ ～直販所「とさっ子広場」勉強会の開催～



講習会の様子

8月16日、JA土佐くろしおにおいて「とさっ子広場」勉強会を開催しました。

勉強会には、生産者60人の出席があり、農業改良普及課から土づくりや土壌測定的重要性について、JAからは農薬の適正使用や大規模直販所「とさのさと」オープンに向けた生産・出荷計画について説明し、出席者は熱心にメモを取っていました。

出席者に確認したところ、農薬の使用は概ね5種類までが大半であり、農業改良普及課は、今後JAと協議しながら使用記録簿の改訂等を行い、農薬を安心して使用できるように進めて行く予定です。

夏季のシシトウ異常果発生抑制に向けて ～JAと対策方法を検討～



営農指導員と合同巡回する様子

6～8月にかけ、JA土佐くろしお管内の雨よけシシトウ栽培ほ場で、シシトウの花柄や果実が収穫後に短時間で萎縮する異常果発生対策を検討するため、JA土佐くろしお営農指導員と合同巡回を実施しています。

営農指導員は発生状況の調査、農業改良普及課は生産者の栽培管理状況を確認して異常果発生の再現試験を行っています。生産者からは、異常果発生を予防するため、かん水管理や整枝方法をより綿密に行うことで発生を抑制したいという、前向きな意見も聞かれました。

農業改良普及課では、実証試験を実施する等、今後もJAと協力して発生抑制に向けた取り組みを進めていきます。

水稻新品種「よさ恋美人」の普及を目指して ～収量・品質の検討～



よさ恋美人のPRの様子

7月25日、今年初めて作付けした水稻新品種「よさ恋美人」が収穫されました。それに合わせて、農業改良普及課では、収量及び品質を調査するため坪刈りを行い、サンプルを採取しました。

須崎地区の早期稲はコシヒカリを中心に栽培していますが、近年の高温により品質が低下しており、「よさ恋美人」の導入による品質の向上が期待されています。

農業改良普及課では、これから採取したサンプルの調査を行い、「よさ恋美人」の収量や品質を検証するとともに、来年度の作付け面積拡大へ向けて取り組んで行く予定です。

収量と品質の向上を目指して～JA 土佐くろしお露地シシトウ現地検討会の開催～



シシトウ出荷物を確認する様子

7月26日、津野町葉山と須崎市大谷の会場で、JA土佐くろしおの露地シシトウ生産者、営農指導員、販売課、農業改良普及課で、現地検討会を行いました。

営農指導員と農業改良普及課からは、今後の高温、乾燥に対してかん水量を増やすことや変形果などの摘果の推進、台風対策について情報提供しました。また販売課からは、目慣らし会を行って出荷物の等級について説明しました。

生産者は、新しく登録になった農薬の質問をしたり、生産者同士で出荷量や栽培状況について情報交換をしていました。

農業改良普及課は、今後もJAと協力して栽培管理について情報提供し、収量と品質の向上を支援していきます。

高品質な小ナスや米ナスの出荷に向けて！～JA津野山ナス部会が目慣らし会を開催～



目慣らしの様子

8月9日、JA津野山ナス部会がJA津野山営農センター輝で、目慣らし会を開催し、米ナス14人、小ナス5人の生産者が参加しました。

JAは米ナス生産者に今後の栽培管理等を、農業改良普及課は小ナス生産者にかん水、追肥、病虫害防除等今後の栽培管理について説明しました。

参加者からは、「ホコリダニ類の効果的な防除対策はあるのか」等の質問が出されました。また、生産者は少なくなっていますが、津野山地域における高品質な小ナスを今後も出荷し続けようと機運が高まりました。

農業改良普及課は今後もJA等関係機関と連携して、津野山地域における小ナスや米ナスの高品質な生産に向けて支援します。

新たな農業担い手の確保を目指して！～関係機関が連携した就農相談会の開催～



個別相談の様子

8月14日、管内4市町がれんけいこうち広域都市圏の取り組みにより、高知市内で市町村合同就農相談会を開催しました。

相談会へは農業改良普及課の職員も参加し、地域の特徴や農業の概要等を説明するとともに、就農に関する個別相談に応じました。

会場へは、県内在住の方のほか、お盆で帰省された方なども見え、相談者からは、「農地の情報を知りたい」、「作物の違いによる経費の差は？」などの質問があり、農業改良普及課の職員が回答するとともに、農地等については関係機関と連携して対応することとしています。

農業改良普及課は、今後も関係機関と連携して新規就農者の確保と育成に向け、取り組んでいきます。